

経営者の皆様に、次への視野(スコープ)を。
毎月、かんぽ生命がお届けします。

かんぽスコープ

Vol.89

経営
時流

社員旅行は毎年海外へ。 感動の福利厚生で、会社の一体感を醸成する。

社員どうしの交流を活発化させ、

会社への帰属意識を高める効果的な手段として、社員旅行や運動会などの福利厚生イベントを復活させる企業が増えています。しかし、実際に何をすれば社員が満足するか分からず、実行に移せないことも多いでしょう。そこで今回は、福利厚生の徹底的な充実により、会社の一体感の醸成と高業績を同時に成し遂げている株式会社シンコーメタリコンの立石豊社長に話を伺いました。

社長自ら企画する、 年1回の海外社員旅行。

昨年末、京都の旅館で行われたシンコーメタリコンの忘年会。この席で社員が心待ちにするのは、次回の社員旅行先の発表だ。スクリーンに日本から飛び立つ飛行機のアニメーションが流れると、到着した先はスペインのバルセロナ。会場からは歓



「社員の幸せが会社の幸せ」と語る立石氏

声があがった。

「驚く顔が見たくて、発表するまで行き先は秘密。映像も私が作っているんですよ」と立石氏は楽しそうに語る。

同社の海外社員旅行は毎年恒例。4泊6日の日程で社員は全員参加。これまでハワイ、オランダ、イタリアなどを訪れた。これらの企画を考えるのも立石氏。自ら旅行代理店と交渉し、旅程から食事のメニュー、座席の配置まで細かく決める。もちろん、費用は全額会社持ちだ。

社員旅行に限らず、同社の福利厚生はユニークなものばかり。誕生日には10万円の手当とともに、社員の働きぶりを称賛する直筆のカードをご両親に贈る。年に一度、7日間の連続休暇が取れる「ドリームセブン」や、営業社員へのスーツ手当(年間5万円)の支給など多種多様だ。「社員は家族です。全員が人生を楽しみ、幸せだと感じながら仕事をしてもらえるように趣向を凝らしています」

社員の思いをひとつに まとめあげる。

同社は1933年の創業以来、溶

射一筋の企業。溶射とは、溶かした

金属やセラミックスなどを基材の表面に吹き付け、耐摩耗、耐腐食、断熱などの特性を付与する技術で、立石氏の祖父・亨三氏が日本で初めて実用化したものだ。立石氏は3代目で、94年に33歳で社長に就任した。受け継いだパイオニア精神から「まずは何ごとも挑戦」が立石氏のモットー。研究会や展示会に参加して自社技術の高度化の必要性を感じ、新たな取り組みに着手した。

まず、最新の溶射ロボットを導入して量産体制を作り上げ、03年には溶射技術研究室を開設。研究開発の体制の強化により、提案件数に対して採択率が20〜35%前後と難関のサポイン事業^{※1}に、9年間で5件が採択されるまでに至った。

さらに、生産工程、納期、材料在庫などのデータを一元管理できるオリジナルの業務管理システム「シン魂」を構築。情報を正確に把握し、営業・生産・経営戦略に役立てたことで顧客の数は年々増加し、現在の取引先企業は3100

社を超えるなど、立石氏の代で業容は大幅に拡大した。「でも、その原動力は何よりも社員の結束にあるんです」と立石氏は力を込める。

立石氏が社長就任時、同社は多くのベテラン社員が定年を迎え、若手社員が会社の中心になっていた。新社長の周りには、目を輝かせた若者たちが集まっていた。

「彼らの心をひとつにすれば必ず勝てる、そう確信しました。そこで、みんなの思いを同じ方向にそろえるために、社員が丸となる企業風土をつくらうと思ったのです」

そうしてさまざまな福利厚生制度やイベントを充実させた結果、社員

2011年の海外社員旅行はイタリアを訪れた。



定年退職を迎えた社員の労をねぎらう「卒業式」。毎回、退職者の人柄に合わせた企画を用意する。

株式会社シンコーメタリコン 〒520-3222 滋賀県湖南市吉永405番地
☎0748-72-3311 <http://www.shinco-metalicon.co.jp>

※1 戦略的基盤技術高度化支援事業 ※2 機内での宿泊は1泊としてカウントされない。

満足度は驚異の86%。社内結婚が増え、親子社員も3組を数え、シンコーメタリコンは、まさに家族のような会社に育ったのだ。

ただし注意が必要なのが、せっかくの福利厚生も、給与手当や交際費とみなされるおそれがあること。福利厚生費として損金算入が認められるには、海外社員旅行の場合、社員の50%以上が参加し、海外での滞在日数が4泊5日^{※2}以内との要件があり、同社もそれを遵守してプランを立てている。

驚きと感動が、社員の心を熱くさせる。

同社には、福利厚生を越えて、まだ数多くのイベントがある。たとえば、社員が結婚したときは、会社をあげて手づくり結婚式を開く。成人式を迎える社員がいたら、花を贈り記念写真を撮影。育児休業中の社員には、月に1回、子連れで社長面談。結婚を考える独身社員には、立石氏が一緒に婚活をして相手を見つけてあげる。立石氏は「お節介」と言われるくらい社員を「かまう」のだ。

「それが、会社という家族の、家長としての自分の務めだと思っています。しかし、いくら家族主義とはいえ社員は他人ですから、つねに新しいことを試み、驚きを与え、感動させること、これがみんなの熱い気持ちを冷めさせないポイントですね」

家族主義経営を支える福利厚生。臨時収入があれば実行できます。

社員を想う社長の気持ちを表すために、そして、社員の心をひとつにするために、自由に使える資金があれば重宝します。ただし、給与と認定されないための注意も必要。そのポイントを、チェックしてみませんか？



ぜひご覧ください

マンガで楽しく、分かりやすくご案内しています。

かんぽビジネスライブラリ
「福利厚生資金に活用」の巻



資料をご要望の皆さまへ

ご覧の資料をお届けします。
ご要望の方は、お手数ですが、かんぽ生命保険の最寄りの支店までご連絡ください。



文=阿部博幸

医療法人社団博心厚生会アベ・腫瘍内科・クリニック理事長。臨床内科専門医、労働衛生コンサルタント。著書に『がんで死なない治療の選択』ほか多数。

がん治療最前線

話題の免疫治療薬「オプジーボ」とは

免疫細胞を再活性化させる治療薬

この数年を振り返ってみて、オプジーボほど話題となった薬はないでしょう。これまでのがんの治療薬はがん細胞のDNAを攻撃して増殖を阻止しようとするものや、増殖や転移に関わるがん細胞特有の分子をターゲットにするものでした。しかし、

オプジーボは、がん細胞を直接攻撃するのではなく、免疫細胞の免疫応答に着目した治療薬なのです。

がん細胞は、細胞表面にPD-L1という分子を発現します。この分子が免疫細胞のPD-1という分子に結合すると、免疫細胞はがん細胞への攻撃をやめてしまいます。オプジーボは、PD-L1がPD-1に結合できなくなる抗体薬で、これにより免疫細胞の攻撃力を再活性化しようとするものです。

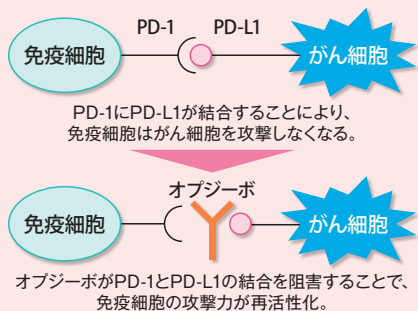
報告によれば重篤な副作用の可能性も

現在、日本でオプジーボの保険適用が認められているのは、メラノーマ、非小細胞肺癌、腎臓がん、ホジキンリンパ腫と一部のみですが、従来の抗がん剤に比べてがんの縮小効果と延命効果が高いという治験結果により、画期的ながん治療薬と期待されています。しかし、従来の抗

がん剤とは異なるメカニズムですが、免疫反応に関連する間質性肺疾患、大腸炎、1型糖尿病などの重篤な副作用が生じる可能性があるとの報告もあり、注意が必要なのは知っておくべきでしょう。また、免疫の働きが衰えている患者には、あまり大きな効果が得られないのではないかと懸念があると私は考えています。

昨年末には、キイトルーダという免疫治療薬も登場しました。キイトルーダは、仕組みはオプジーボと同じですが、がん細胞にPD-L1が50%以上高発現する、より薬の効果が高いと考えられる患者のみを対象にしたもので、肺癌に対しての第一次治療として使用することが認められています。このほかにも、多くの免疫治療薬の開発が進められており、今後のがん治療に新しい展開をもたらすことになるでしょう。

オプジーボの仕組み



(注)

記事中に記載の法令や制度等は取材当時のもので、将来変更されることがあります。詳細につきましては、各専門家にご相談いただきますようお願いいたします。